



虎に翼

理事長 阿部 美和子

中央保育室が現在の場所に移転して10月16日で丸一年が経ちました。子どもたちや保護者の方ほか、関係者の方々のご理解、ご協力により移転し、安心安全な保育室で過ごしています。

何事もすんなり進む事ばかりではありません。中央移転に関し、担当部署の方が次々と登場し、許可が下りず、苦戦しました。許可が下りない理由は、移転先が築浅の建物では無いというものでした。

登場人物が変わる度、「私はなぜ移転を希望しているのか？」と自問自答しました。

その度に、旧建物の1階の浸水によるカビ、3階の酷くなる揺れを見過ごすことはできない「子どもたちの命に関わる問題」との思いに立ち返り、声を上げ続けました。

在籍児童と保護者の方が移転後も変わらず通える場所であること、㎡数が狭くならず、家賃が支払い可能なことも重要なポイントでした。

たまたま条件に合った物件が見つかり、家主さんが担当部署の許可が下りるのを待って下さったことも有難い事でした。

最終的に行政が強情な私に渋々折れた形で、この戦いは終わりました。

今年の9月、NHKの朝の連続テレビ小説の主人公の台詞の中に「(上げた声により)今、変わらなくとも、いつか何かを変えるかもしれない」というものがありました。

状況により一概に言えない場合もあるとは思いますが、私はとても救われた思いがしました。

逆風が強いと、とかく引き気味になりがちですが、声を上げることの大切さと同時に、その出来事について責任をもって継続的に考えて行くことの大切さを肝に銘じました。

《第11回 びな・セミナーを開催しました》

講師:当法人理事 彦根倫子(元神奈川県保健師)

テーマ:心地のよい居場所・行き場所づくり

～NPOの立場としてできることはなにか～

今回は、ボランティア・ひろばを担当している立場からのお話をさせていただきました。2009年に「混合療育を考える会」として、海老名市社会教育団体の認証を受けて、活動を開始した歴史を振り返り、2014年から開始した「ボランティア・ひろば」の目的や、近年の活動の紹介をしました。

生活のしづらさを持っている青年(中学生以上)が定期的に集い、日常生活の中で工夫できることなどを共有したり、2023年度からは、美術館に行くなど、外出のプログラムを企画し、みんなでランチをする機会を作っています。また、2年前から、ボランティアでかかわって下さっている方からも、お話をいただきました。細々ですが継続している活動です。継続して長期に支援できるNPOのよさを活かした活動ができることがメリットだと思っています。

セミナーの前に、2024年度の総会を実施しました。

出席者7名、書面表決者15名、委任状提出者10名で、総会成立、全議案について承認されました。



《「発達障がい児地域支援コーディネーター養成講座(基礎編)」終了、実践編開講》

2023年度に引き続き、かながわコミュニティカレッジにおいて、当法人の企画が採択され、基礎編が無事終了いたしました。



4日目の7月25日(木)には、社会福祉法人県央福祉人材育成部部長で公認心理師の西岡秀樹先生に講演をお願いしました。

今年度で14回目になる「実践編」は、10月3日(木)から、開校。1日目は当法人の阿部が登壇。ワークショップ「パニックキャッチボール」など体験しました。2日目は、横浜市東部地域療育センター公認心理師・安倍陽子先生に「気になる子どもを困る子どもにしないために」というテーマでお話頂きました。実践講座は11月21日(木)まで続きます。支援者育成の場になっていることを実感しております。

学童保育所 びなもーる 便り



★びなもーるニュース★ びなもーるでは、日々の保育の中に、多様な活動を取り入れています。

6月25日(火)

5年生のはらぺこあおむしの読み聞かせのあとに、渡辺先生と1年生で「はらぺこあおむし」を作りました。



7月30日(火)

夏祭りラリー
輪投げを始めとした遊びに大盛り上がり！一番人気はお菓子釣りでした。



7月17日(水)

海老名市更生保護女性会による折り紙教室が行われました。保護司の活動を学び、平和について考え、海老名市主催の戦没者追悼式のために折り鶴を折りました。



8月2日(金)

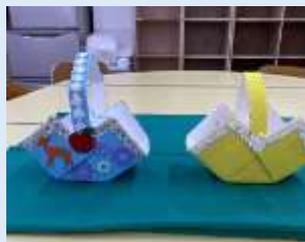
今年の校外学習はBIOTOPIAで体を動かしながら、未病について学びました。



バスで移動し、みんな上府中公園の水場で大はしゃぎ！水遊びは楽しいです。

8月23日(金)

4・5年生の女の子たちによるオリジナル紙芝居「そら・うみ・あお」3回目のお披露目。一生懸命、仕上げました。



9月14日(土)

びな・フィーカ
フェルトと牛乳パックを使って小物入れを作り、昼食に「冷やしうどん」を作って食べました。

8月29日(水) 小島先生による、体の仕組みを学ぶ健康教育。臓器の一つひとつの動きを説明してくださいました。



～子育て～



生まれて間もない赤ちゃんは

何もできませんから、ほぼ100%保護者が対応することが必要でした。そして、子どもの成長と共に、徐々に手をかけることを少なくします。

どのような部分で手を引くかは、それぞれの子どもの成長によって異なります。子どもが日常生活でできることは、子どもに任せることが良いと思います。

違っている時には、どうすれば良いかを短い言葉で伝えましょう。いつもはできることでも、できない時があります。それはできるようになるための途中だと思ってください。子どもに根気よく対応することは、子どもの成長にとって大切なことだと思います。

びなもーるスーパーバイザー
臨床心理士 松下 博

ただいま！お帰りなさい！

暑くて長い夏休みが終わり、2学期に突入。1学期の頃はぎこちなかった1年生と2年生の関係も今では自然と遊べるようになり、変化を感じる今日この頃。

1年生は漢字の練習や二桁の計算の勉強が始まり、一生懸命励み、わからない漢字があると一緒に辞書で調べています。時々、他学年の子どもたちも1年生が勉強しているところにやってきて、教えてようとしている姿を見て微笑ましく思います。

中央Ⅱの部屋では高学年の男の子たちがレゴでポケモンを作ったものを棚に並べており、その出来上がりを低学年の子どもたちが目をキラキラさせながら眺めています。

様々なことが起きる日常の中で、大変なこともあるけれど、子どもたちのポジティブな変化には目をとめていきたいです。

びなもーる支援員 村田 真梨子

《びなもーるイオン 支援員募集》

※詳細は TEL/FAX 046-205-4068
(学童保育所)へお問い合わせください。

★NPO 法人 びなシッフ活動ニュース★



法人の事業として、びなもーるともコラボしながら、様々な活動を実施しています。

《ボランティア・ひろば》



9月7日(土) 防災について学びました。

9月1日の防災の日になんで、地震や台風の時にどのようなことに気を付けているのかなどを参加者同士で話し合いました。国土交通省や、神奈川県で作成しているリーフレットを配布しました。毎回参加者が、それぞれに得意分野を活かした活動をしています。今回も日常よく使うのに、知らない、書けない漢字にチャレンジ！

第1問	あながち	①要	②強	③則	答え	②
第2問	ようやく	①漸	②暫	③尽	答え	①
第3問	つぶさに	①細	②羽	③具	答え	③
第4問	わきまえる	①締	②準	③弁	答え	③



7月3日(木)
体験学習で、坐禅とお抹茶を楽しみ、自然と無の境地になりました。

《体験学習》

5月26日(日)田植え、10月6日(日)稲刈り
小島先生の田んぼで恒例の田植えと稲刈りを行いました。



小島先生と「自然の恵み」に感謝を！

「ザクザク」と鎌の手応えが心地良かった



はじめは、田んぼに入るのにも勇気がいりました。



《びな・ひろば》

8月17日(土)パン作り
ボランティア・ひろばに集う仲間と、びなもーるに通う子どもたちと一緒に、みんな思い思いのパンを作りました。



小麦とバターの香りがたまらない出来立てほかほかのパン。トッピングにシナモンやレーズン、仕上げにアイシングをかけました。最高!!!

いいところみつ



学習を終えおやつを食べたところで時々お話タイムをもちます。好きな食べ物・好きなこと・今学期頑張りたいことなど話題はいろいろ。

4月に新メンバーを迎えて5か月弱、先日は「(それぞれの)いいところみつ」でした。週1回2時間程度のお付き合いですが出てくる出てくる!「面白いにぎやかで楽し 一生懸命 かわいい ほっぺが柔らかい?!」

さて、ここで伝えたかったのは「人のいいところを見つけられるあなたも素敵です。」

いつかお話タイムで「自分のいいところみつ」をやりましょう。

インクル・ひろば担当 山口知子

《インクル・ひろば》

毎週木曜日に開催しています。あらたに2名の子どもたちが加わり、アットホームな雰囲気の中で思い思いの課題に取り組んでいます。



2024年度 びなシップの活動予定



《びな・ひろば》

12/14 (土) クリスマスクッキー作り
2025/1/26 (日) お正月遊び
3/15 (土) ぼたもち

《ボランティア・ひろば》

2025/2/1 (土)

《インクル・ひろば》

月4回木曜日開催

《びな・スーパービジョン》

2025/1/6 (月) 3/4 (火)

- 【会場】 今年度は、インクル・ひろば、びな・スーパービジョンは「びなもーる」
その他の活動は「びなもーるイオン」や「ピナレッジ」等の予定
- 【申込み】 FAX・Email で事務局へお願いします。



《子どもワクチン支援活動にご協力ください》

ペットボトルのキャップが「世界の子どものためのワクチン代」へと役立ちます！

海老名中学校では、「認定NPO法人 世界の子どものためのワクチン代 日本委員会」(略称：JCV)の活動に協力するため、ペットボトルのキャップ回収に取り組んでいます。

世界ではワクチンがないために命を落とす子どもが20秒に1人います。

ペットボトルキャップ約800個・2kgでワクチン1人分になるそうです。

「捨てればごみ、集めればワクチン！」
皆さんのご協力をお願いいたします。

※詳細は JCV <https://jcv-jp.org> で



玄関ホールにあります

びなもーる卒業生の細田さん(海老名中)が集めて中学校へもって行ってくれます。



イラスト:細田 茉莉さん

～編集後記～

ニュースレター第19号をお届けします。

NPOの設立は、2016年2月12日。そろそろ、10周年記念の報告書の作成のことを考える時期となってきました。その間、学童保育所を開設、さらに新型コロナウイルス感染症の感染拡大による事業の縮小やその後の再開、学童保育所の移転など、継続していくために様々な課題、問題に直面しました。その経験から得られたこともたくさんあったような気がしています。

報告書には、失敗したことも含めて、法人の活動を応援して下さった多くの方々からの声を集めていきたいと思っておりますので、ご協力よろしく申し上げます。

ニュースレターに関する、ご意見、ご感想、当法人の事業についてのご意見など、お気軽にお寄せください。

事務局：彦根倫子

《ボランティアスタッフ募集！》

びな・ひろばを始めとする、NPOの活動のボランティアスタッフを募集しています。

詳細は下記までお気軽にお問い合わせください。



★事務局★

住所：〒243-0419

海老名市大谷北3-21-24

TEL/FAX：046-205-4068

(学童保育所開所中)

Mail：binamall3225@gmail.com

<https://bina-ship.com/>

